

豊かな絆を結び合う愛着と誇りを持てるまちをめざして

高浜小学校区 第2次地域計画

2023~2032

高浜まちづくり協議会

目 次

はじめに

- (1) 計画策定の目的 1
- (2) 計画の位置づけ 2
- (3) 計画の構成と期間 2
- (4) 策定体制 2

1. 高浜小学校区はこんな地域 ～現況と特徴・課題～

- (1) 高浜小学校区の概要 3
- (2) データから見る高浜小学校区の姿 3
- (3) 「市民意識調査」から見る高浜小学校区の長所と課題 7
- (4) 「地域計画アンケート」から見る高浜小学校区の長所と課題 8
- (5) 「子どもアンケート」から見る高浜小学校区の長所と課題 8
- (6) 高浜小学校区の長所と課題（まとめ） 10

2. こんな地域になったらいいね！

～高浜小学校区の将来像とまちづくりの目標～

- (1) 高浜小学校区の将来像 11
- (2) まちづくりの目標 11

3. こんな地域にしていこう！

～高浜小学校区のまちづくり戦略～

- (1) 助け合いの心とぬくもりがあふれるまちを作ろう！ 13
- (2) 美しい景観をみんなで守り育もう！ 15
- (3) 情報が行きかう安全・安心なまちを作ろう！ 17

4. こうやって取り組んでいこう！ ～まちづくりの推進体制～

. 19

5. 参考資料

- (1) 策定のあゆみ 20
- (2) 策定メンバー 20

はじめに

(1) 計画策定 の目的

■「地域計画」とは

「地域計画」は、地域の課題解決や魅力アップに向けて、地域の市民の皆さんの「こんなまちになったらいいな!」「こんなまちにしていきたい!」といった想いを踏まえ、小学校区単位の将来像、まちづくりの目標や活動方針、自主的・自発的に取り組む

活動内容等を長期的な視点で定めた計画で、まちづくり協議会が主体となって策定するものです。

■市民が主役のまちづくりをめざして ～「地域計画」の策定～

私たちのまち高浜市では、自治本来の姿に立ち返り、「自分たちのまちのことは、自分たちで考え、つくっていく」という決意のもと、地域内分権を推進してきました。

地域に身近な課題は地域に住んでいる市民が一番よく知っています。

「地域の課題を、地域の実情にあった、より良い形で解決したい・・・」

「もっと地域の魅力やいいところを活かしたまちづくりを実現したい・・・」

そんな地域の市民の皆さんの想いをかなえていくために、平成20年1月から21年5月にかけて、まちづくり協議会設立準備委員会において「地域計画」を策定し、2015年に改訂した「高浜小学校区 地域計画」を見直しました。

■時代や課題に的確に対応していくために ～計画の見直しへ～

「地域計画」は、毎年度の事業立案や実行の指針として活用していますが、前回の改訂から5年以上が経過し、時代潮流や地域の課題も変化が見られるようになりました。

また、平成27年4月には「高浜市まちづくり協議会条例」が施行され、まちづくり協議会が公共的団体として担保されました。「みんなのために、みんなで行く」「みんなで知恵や力を少しずつ持ち寄る」「想いを共有しながら運営・活動する」ことなどを今まで以上に意識しながら、自主的・主体的なまちづくりを進めていくことが大切になっています。

そこで、時代や課題に的確に対応していくために、また「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える高浜小学校区をみんなで力を合わせていくために「地域計画」の見直しを行いました。

(2) 計画の 位置づけ

「地域計画」は、高浜市のまちづくりの最高規範である「高浜市自治基本条例」(第18条)に位置付けられた計画で、各小学校区の自主的・自発的・自律的なまちづくり活動の長期的な指針となるものです。

また、高浜市のまちづくりの設計図である「第7次高浜市総合計画」の「基本構想」にも「地域展望」の項目が設けられ、市政運営にあたっては「地域計画」を“地域の想い”として尊重し、地域の「やりたい!」「こうしたい!」という自主的・自発的な取組みを応援するとともに、地域とともに協働して取り組んでいくことが明記されています。

(3) 計画の 構成と期間

地域計画は、地域の将来像とまちづくりの目標、まちづくり戦略、推進体制で構成します。

計画期間は、第7次総合計画との整合をとるため、2023年度(令和5年度)から2032年度(令和14年度)までの10年間とします。

ただし、地域を取り巻く状況の変化等に柔軟に対応していくため、必要に応じて見直しを行うことができるものとします。

(4) 策定体制

地域計画は、まちづくり協議会の会員である地域住民と、まちづくり協議会特派員(高浜市職員)が中心となって、協働で原案を練り上げました。

アンケートの実施、役員会・理事会での協議、まちづくり協議会構成団体とのキャッチボールなど、高浜小学校区にお住まいの皆さんとの情報共有・意見収集を積み重ねながらまとめあげ、まちづくり協議会第13回通常総会にて承認しました。

1. 高浜小学校区はこんな地域 ～現況と特徴・課題～

(1) 高浜小学校区の概要

高浜小学校区は、高浜市の中央部に位置し、市役所等の官公庁や公共施設が多くあり、中心商業地として発展してきました。

本地区は、もともと明治22年に誕生した高浜村に由来しています。

(2) データから見る高浜小学校区の姿

■基礎データ (令和3年4月1日現在)

①人口	10,460 人
年少人口 (14歳以下)	1,488 人 (14.2%)
生産年齢人口 (15～64歳)	6,606 人 (63.2%)
老年人口 (65歳以上)	2,366 人 (22.6%)
②世帯数	4,309 世帯
平均世帯人員	2.43 人/世帯
③面積	2.14km ²
市街化区域面積	1.91km ²

■主な地域資源

えんちょ獅子 (県無形民俗文化財)
 おまんとまつり (市無形民俗文化財)
 鬼のみち
 かわら美術館
 土管坂
 衣浦観音
 大山の大タヌキ
 大山緑地の千本桜



■人口

5小学校区の中で2番目の規模です。学区における65歳以上の老年人口比率は5校区の中で最も高く、また、14歳以下の年少人口比率は最も低く、市内で最も少子高齢化が進行した地区です。

■土地利用

市街化区域面積の割合は、5小学校区の中で4番目です。市街地は、中心商業地、副核商業地からなる商業系地域、住まいと高浜市の地場産業である、やきもの（瓦、土管等）工場が混在している住工混在地域からなっています。

■交通

中央部を名鉄三河線が走り、三河高浜駅、高浜港駅の2駅があるとともに、幹線道路として主要地方道・名古屋碧南線が通っています。東西交通としては、地区の外周を国道419号、主要地方道・西尾知多線、中央部を主要地方道・岡崎半田線が通っています。

■地域資源

江戸時代から瓦を中心とする窯業が盛んな地域で、「鬼のみち」「かわら美術館」「土管坂」「衣浦観音」「大山の大タヌキ」などが、景観や文化遺産としてまちなみの中に息づいています。

大山緑地の千本桜や、えんちょこ獅子（県無形民俗文化財）、おまんとまつり（市無形民俗文化財）なども、住民共有の財産として先人たちから受け継がれ、親しまれています。

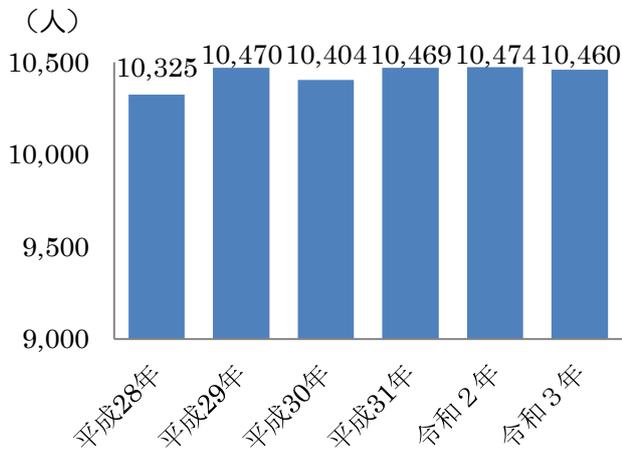


■基礎データ (令和3年4月1日現在)

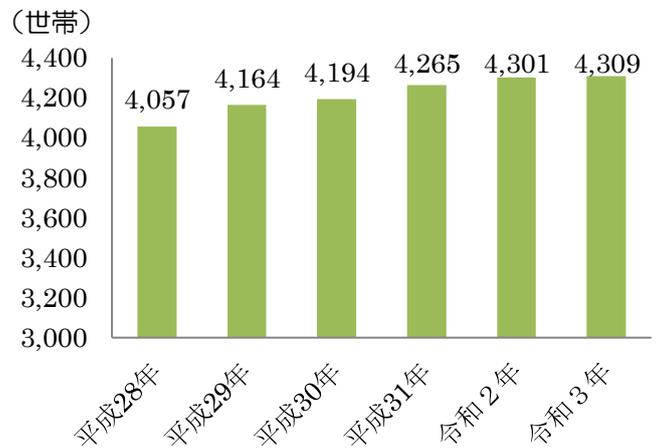
出典：高浜市統計データより

①人口の推移

総人口の推移

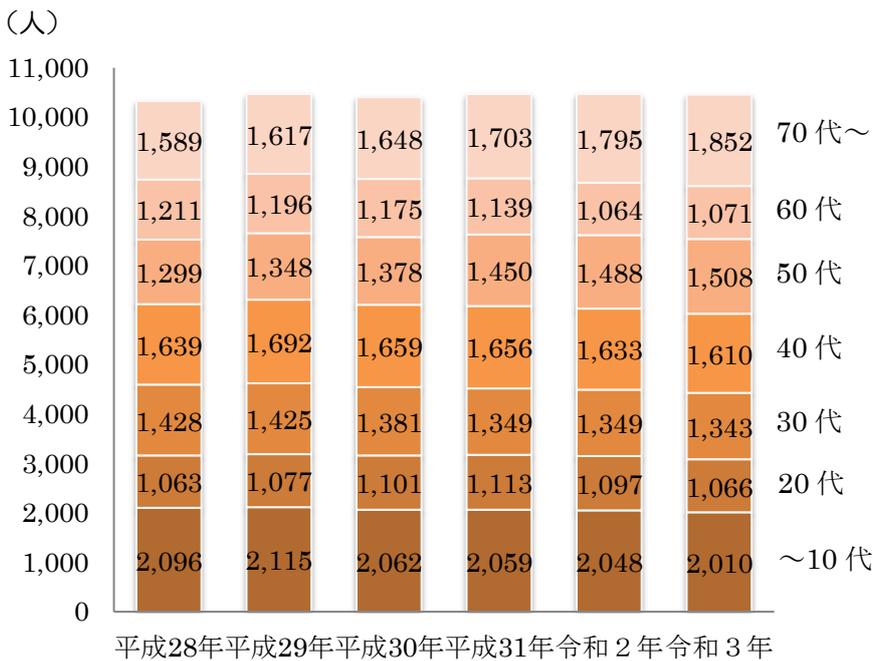


世帯数の推移



総人口(年代別)の推移

出典：高浜市統計データより



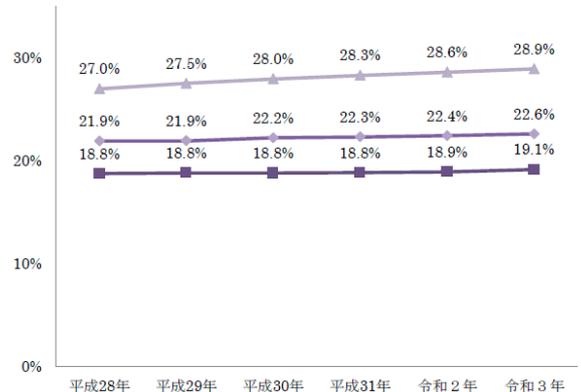
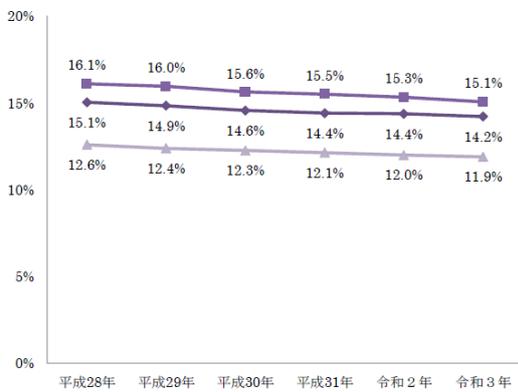
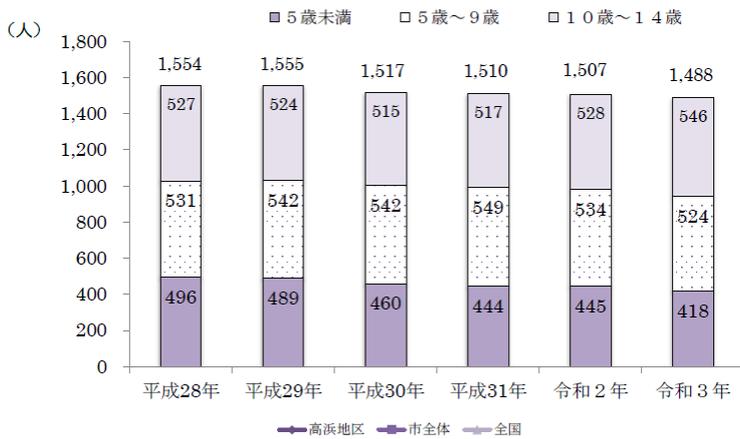
◇ 人口はほぼ横ばいですが、世帯数は増加傾向にあります。

◇ 年代別にみると、50代・70代以上で増加傾向、20代・30代・40代では減少傾向にあります。

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
70代~	15.4%	15.4%	15.8%	16.3%	17.1%	17.7%
60代	11.7%	11.4%	11.3%	10.9%	10.2%	10.2%
50代	12.6%	12.9%	13.2%	13.9%	14.2%	14.4%
40代	15.9%	16.2%	15.9%	15.8%	15.6%	15.4%
30代	13.8%	13.6%	13.3%	12.9%	12.9%	12.8%
20代	10.3%	10.3%	10.6%	10.6%	10.5%	10.2%
~10代	20.3%	20.2%	19.8%	19.7%	19.6%	19.2%

年少人口の推移

老年人口の推移

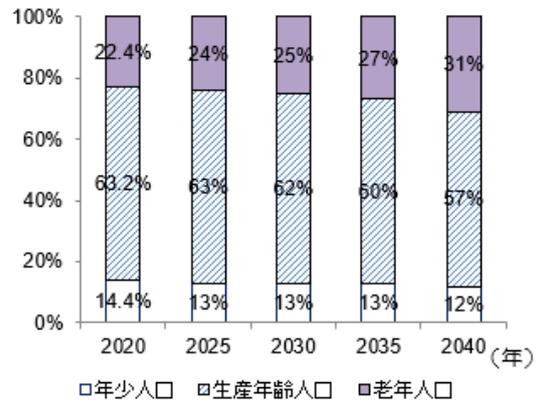
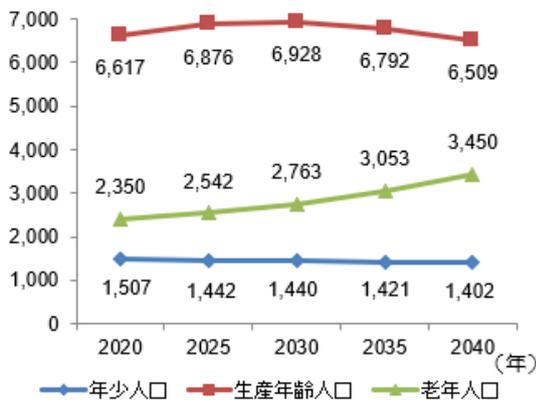


令和3年（2021年）には、老年人口が年少人口を878人上回っています。

- ◇ 年少人口比率は、市内で最も低く、市全体（15.1%）と比較し0.9%低くなっています。
- ◇ 高齢化率は、市内で最も高く、市全体（19.1%）と比較し3.5%高くなっています。
- ◇ 前期高齢者・後期高齢者ともに増加傾向にあります。

②人口予測（総人口・年齢構成）

*R2時点の人口をベースに算出

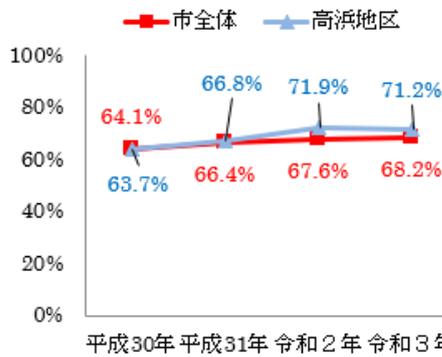


- ◇ 2021年（令和3年）には、高齢化率が22%を超えており、「超高齢社会」に突入しています。
- ◇ 年少人口はすでにピークを迎え、減少していくものと考えられていますが、生産年齢人口は2030年までは増加していくものと考えられています。
- ◇ 総人口は増加し続け、2030年（令和12年）にピークを迎えると考えられています。

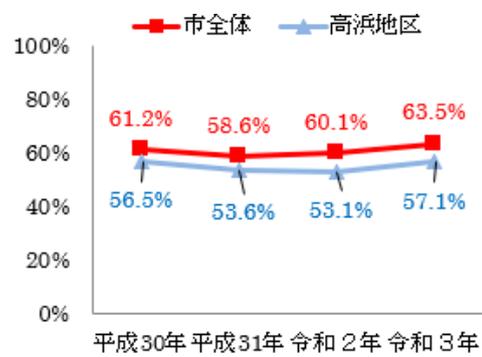
(3) 「市民意識調査」から見る高浜小学校区の長所と課題

■まちへの愛着・まちづくりへの参加

高浜市に愛着を感じるという市民の割合



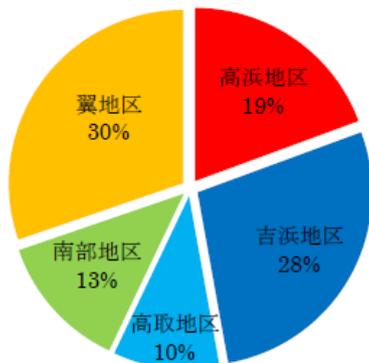
地域活動に参加したことがある市民の割合



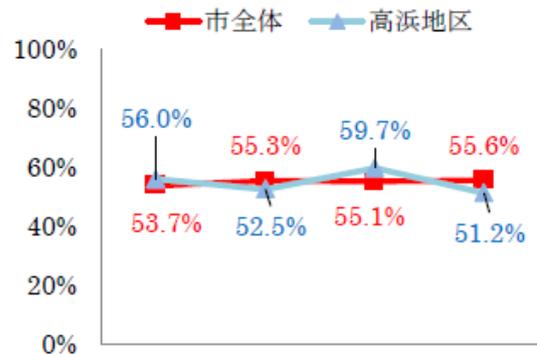
◇ 高浜小学校区の強みである地域資源を活かした取組みを通じて、「まちへの愛着」を高めたり、地域活動への参加を促し、まちづくりへの参加者拡大に取り組んでいくことが大切です。

■安全・安心

犯罪発生件数（刑法犯）の地区別の割合



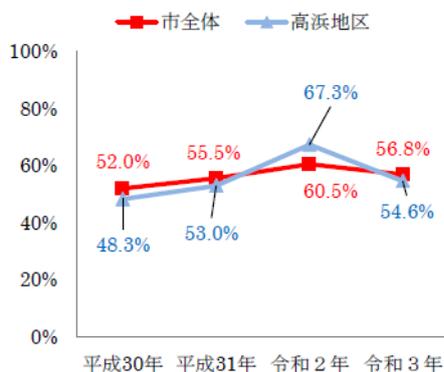
安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている市民の割合



◇ 犯罪発生件数は高浜地区が3番目になっており、また、「安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている市民の割合」は、市平均よりも低くなっています。
→みんなで支え合いながら、安全・安心なまちを築いていくためには、まず「自分の身は自分で守る」という自助意識を高め、地域で力を合わせて助け合う共助の関係づくりが必要です。

■子育て・子育て

地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思っている市民の割合



◇ 地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思っている市民の割合は、市全体と比較し2.2%低い数字となっています。
→安心して子どもを産み、育てられる環境を整え、地域ぐるみで子どもの成長支援を行う必要があります。

(4) 「地域計画アンケート」から見る高浜小学校区の長所と課題

■実施方法

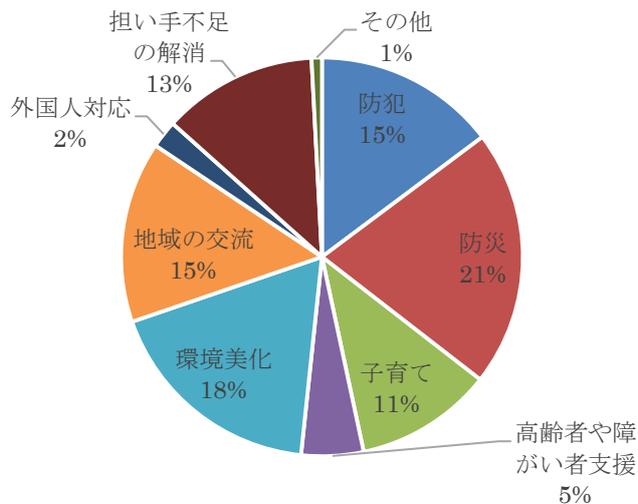
対象 高浜まちづくり協議会 会員

実施時期 令和3年9月

配布数 97 枚

回収数 55 枚 回答率 56.7%

〈高浜まち協や地域で力を入れてほしい分野〉



◇ 防災対策に力を入れてほしい人の割合が最も高く、防犯対策と合わせ、安心・安全に対する割合が約4割を占めています。

(5) 「子どもアンケート」から見る高浜小学校区の長所と課題

■実施方法 (出前授業後に記入)

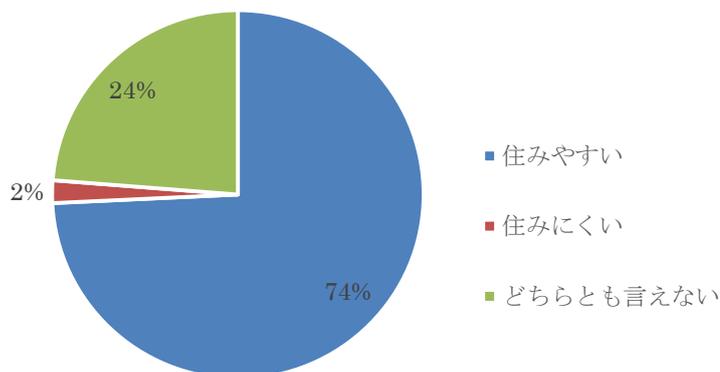
対象 高浜小学校5年生

実施時期 令和3年12月

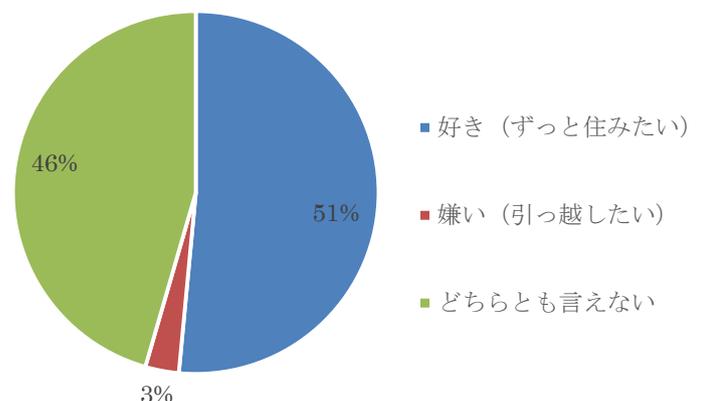
配布数 101 枚

回収数 101 枚 回答率 100.0%

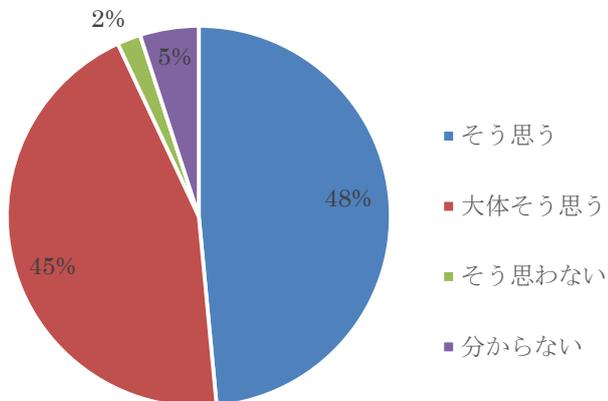
〈高浜小学校の学区について、どう思いますか〉



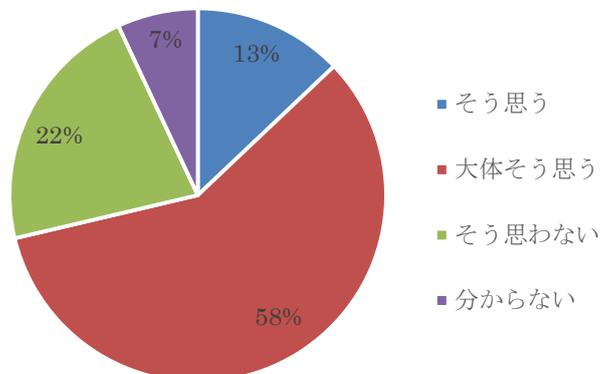
〈高浜小学校の学区について、どう思いますか〉



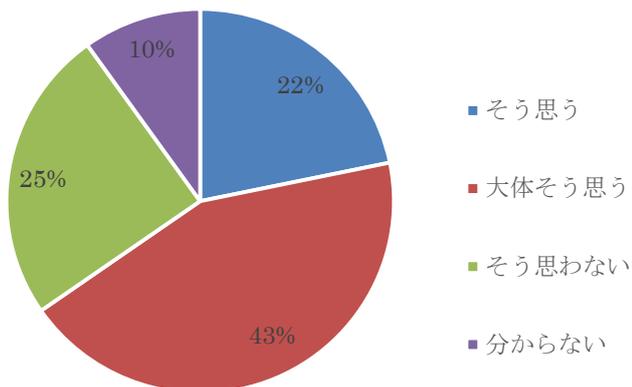
＜今の皆さんの住んでいる高浜について、地域の人は優しいと思いますか＞



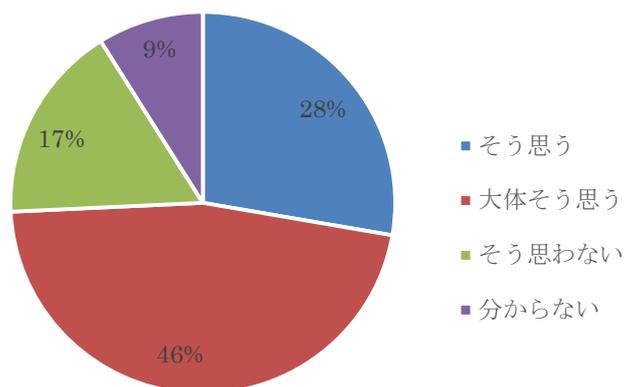
＜今の皆さんの住んでいる高浜について、まちがきれいだと思いますか＞



＜今の皆さんの住んでいる高浜について、イベントが多いと思いますか＞

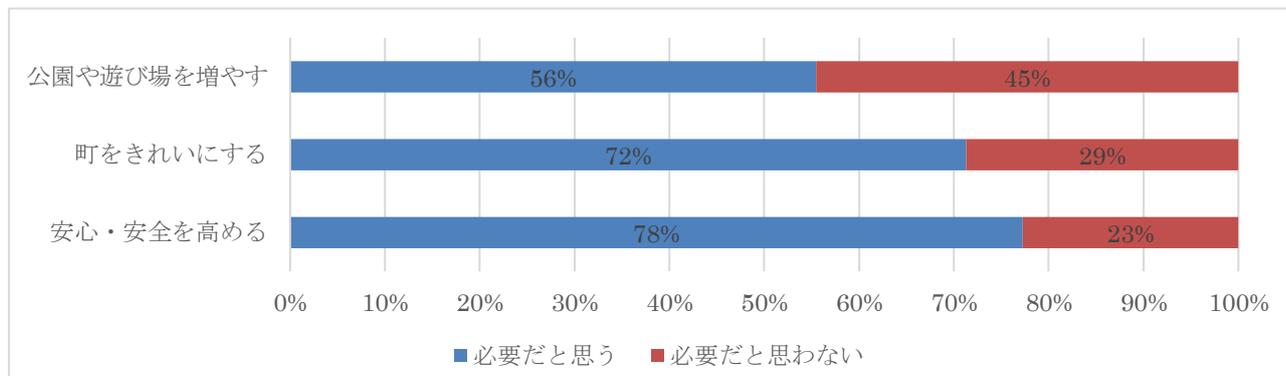


＜今の皆さんの住んでいる高浜について、緑や自然が多いと思いますか＞



高浜小学校の5年生は、高浜小学校区について、人々は優しく、緑が多くて、自然の豊かなきれいまちで、住みやすいところと思っている。

＜高浜市がもっと良くなるために何が必要だと思いますか＞



地域計画アンケートにて防災対策に力を入れてほしい人の割合が最も高かったが、子どもアンケートでも、もっと良くなるために「安心・安全を高める」ことが必要だと思う人の割合が高く、同じ結果が示された。

(6) 高浜小学校区の長所と課題（まとめ）

ま と め	<p>長所</p> <p><人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの人が優しい ・まちに愛着を持っている人が多い <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（大山千本桜、おまんとまつり、鬼みち、稗田川など）が豊富 ・自然が多い <p><交流・居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間・憩いの場として、高浜ふれあいプラザがある <p><安心・安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青パト、児童の登下校時見守り・声かけにより、子どもたちの安心感が生まれている 	<p>課題</p> <p><人口・高齢化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増えており、助け合いの関係づくりが必要である <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミのポイ捨てが多い ・子育てしやすい環境を整える必要がある <p><交流・居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会・いきいきクラブ・まちづくり協議会など、地域の人々の交流が活発になる必要がある ・子どもが安全に遊べる場所が少ない <p><安心・安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯・防災意識を高める必要がある <p><まちづくりの参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動の担い手が不足している ・まち協などの地域活動のさらなるPRが必要である

2. こんな地域になったらいいね！

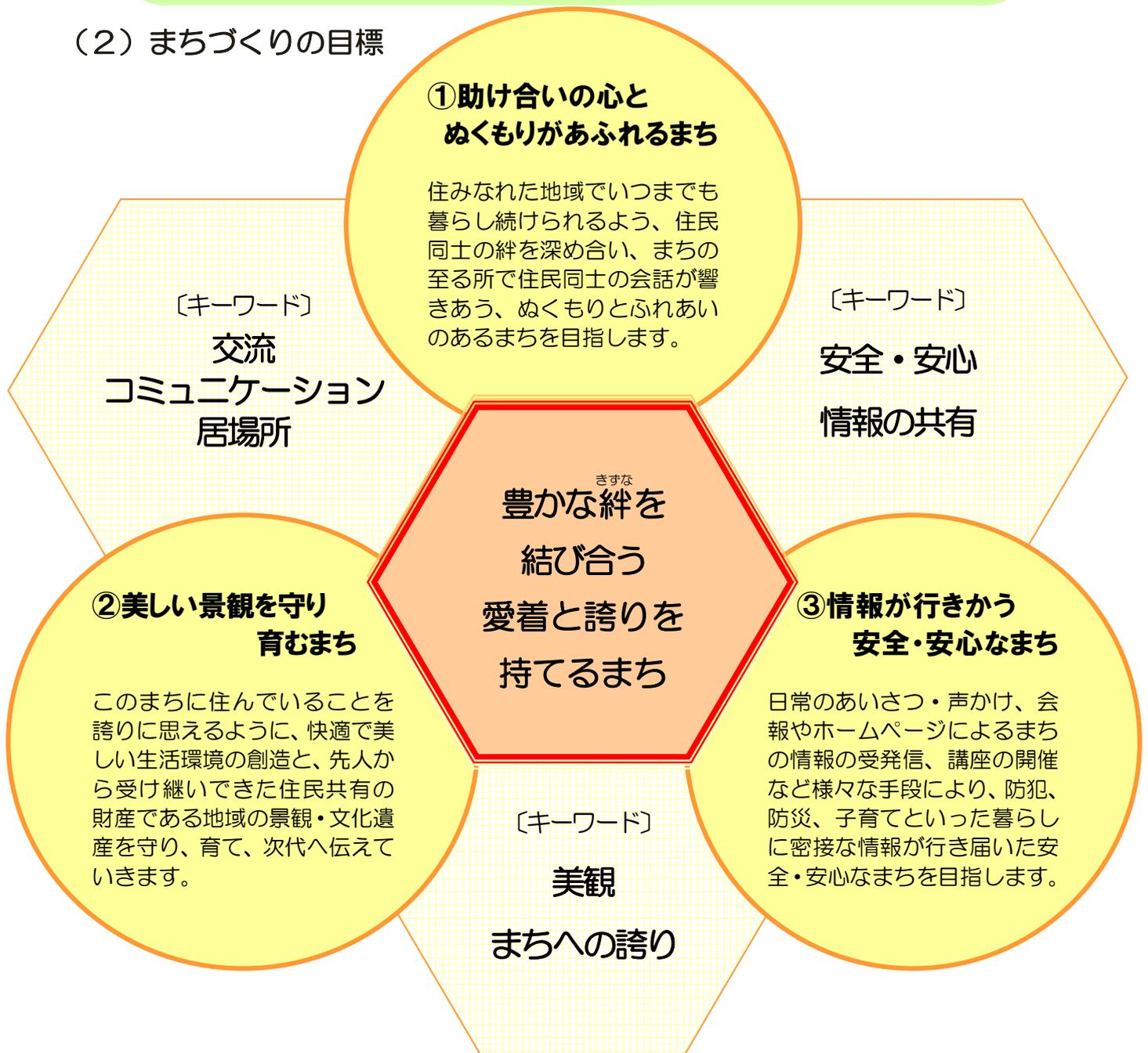
～高浜小学校区の将来像とまちづくりの目標～

「高浜小学校区がこんなまちになったらいいな！」「高浜小学校区をこんなまちにしていきたい！」 住民アンケートの結果や高浜小学校区の特徴を踏まえ、私たち住民がめざしたい高浜小学校区の将来の姿、まちづくりの目標を次のとおり掲げます。

(1) 高浜小学校区の将来像

豊かな絆(きずな)を結び合う 愛着と誇りを持てるまち

(2) まちづくりの目標



■将来像「豊かな絆(きずな)を結び合う 愛着と誇りを持てるまち」のイメージ



3. こんな地域にしていこう！

～高浜小学校区のまちづくり戦略～

(1) 助け合いの心とぬくもりがあふれるまちを作ろう！

①課題と目標達成に向けての考え方

- 住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるようにしていくためには、人と人とのつながりを強め、住民同士の絆を深める必要があります。
- 地域にぬくもりを感じて過ごすためには、誰もが気軽に集まり会話ができる機会や場所を作る必要があります。

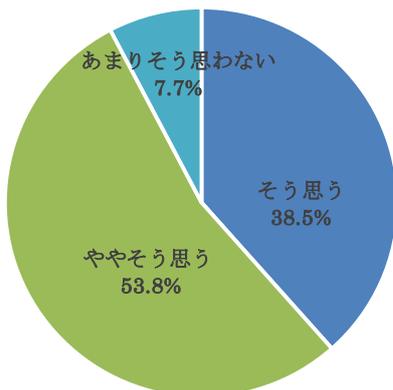
③こんなことに取り組んでいきます！ ～目指す姿の実現に向けて～

〇〇〇〇していきます (取組みの方向性)	例えば、なにを・どのように (取組内容の例)
No.1 住民同士の絆を深めあい、心かよう地域交流イベントを行います	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが人を思いやる心や、世代間のふれあいから地域のつながりを深めるため、夏まつりを開催します。 ・子どもから高齢者、地域企業などが運動会やソフトボールなどの運動を通じて、地域や世代間のふれあい交流をします。
No.2 安心感と信頼感につつまれた地域の「茶の間」となる、だんらんの場を作ります	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所、高齢者の憩いの場など、全世代を通じ、気軽に住民が集う「だんらん」の場を提供します。 ・地域の中で、いろいろな技能の講師に登録していただき、講師となって、世代間交流や健康増進、子育て支援をするため、健康体操などさまざまな講座を開催します。

(参考)

<地域計画アンケートの結果> 令和3年時点

■高浜小学校区は、「助け合いの心とぬくもりがあふれるまち」だと思



92.3%の人が「そう思う・ややそう思う」と答えています。

100%を目指して
いきます！

②こんなまちになったらいいな！ ～目指す姿～

- 人々のつながりができ、地域にぬくもり・愛着を感じています。また、住民同士の助け合いの心が育っています。
- 子どもから大人まで、ともに遊んだりふれあうことができる関係ができ、安心感・信頼感に包まれています。

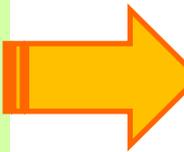
スケジュール（年度）										備考	
2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	～2032		



(2) 美しい景観をみんなで守り育もう！

①課題と目標達成に向けての考え方

- 美しい景観を守るためには、まちをきれいにすることに関心を持ち行動する人を増やすことが必要です。
- このまちに住んでいることを誇りに思えるよう、豊富な地域資源を守り育て、次世代につなげていく必要があります。

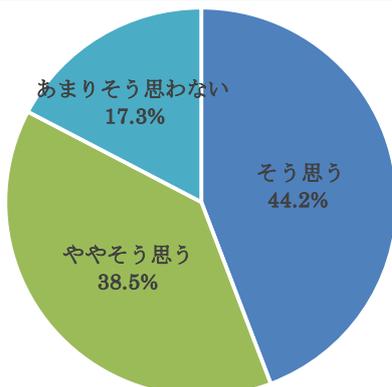


③こんなことに取り組んでいきます！ ～目指す姿の実現に向けて～

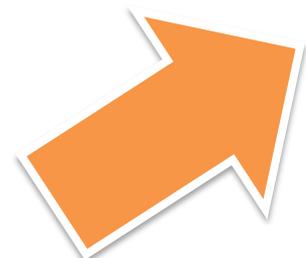
〇〇〇〇していきます (取組みの方向性)	例えば、なにを・どのように (取組内容の例)
No.1 地域との交流を深めながらまちをキレイにしていきます	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会とタイアップして資源回収を行い地域の交流、世代間の交流を図ります。 ・美観・防犯・交流を目的に稗田川の草刈りや植栽などを行います。 ・参加者みんなで一緒に鬼みちや川のみちを歩き、名所を確認しながらゴミを拾います。
No.2 大山の魅力をさらにアップしていきます	<ul style="list-style-type: none"> ・千本桜ライトアップや心字池紅葉ライトアップを行い、地域の憩い・世代間交流の場を創出します。 ・常夜灯や案内看板の清掃を行い、ライトアップ期間中はパトロールとゴミ拾いを行います。 ・千本桜散策マップ図を公共施設などに設置します。 ・桜の里親会を開催し、草取りや水やりなどの手入れをします。
No.3 わがまち自慢の資源を活用して、地域を盛り上げます	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の笑顔の作品などをいぶし瓦風に仕上げ、鬼みち祭りなどで展示します。 ・案内看板の清掃を行い、グルメガイドを公共施設に設置したり、マップ図の更新をします。 ・おまんと祭りや地元のお宝写真を集めて展示します。

(参考) <地域計画アンケート結果> 令和3年時点

■高浜小学校区は、「美しい景観を守り育むまち」だと思う



82.7%の人が「そう思う・ややそう思う」と答えています。



100%を目指して
いきます！

②こんなまちになったらいいな！ ～目指す姿～

- 地域住民が美化活動に積極的に参加し、まちがきれいになっています。
- 豊富に存在する地域資源のすばらしさを共有し、子どものうちからまちに愛着や誇りを持ち、次世代へ引き継ぐサイクルができています。

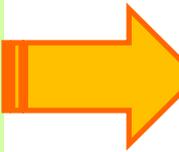
スケジュール（年度）										備考
2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	～2032	
●—————→										
●—————→										
●—————→										



(3) 情報が行きかう安全・安心なまちを作ろう！

①課題と目標達成に向けての考え方

- 地震などいざというときに行動ができるようにするためには、みんなで地域の防災を考え、地域全体の防災力を高めていく必要があります。
- 犯罪や交通事故を減らすためには、住民の防犯意識を高め、地域全体で防犯体制を整える必要があります。
- まちづくりの参加を増やしていくためには、求めているまちの情報がすぐに手に入る環境が必要です。

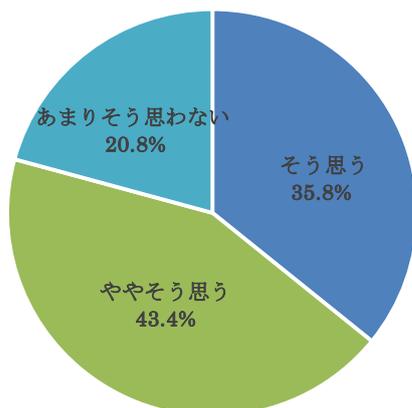


③こんなことに取り組んでいきます！ ～目指す姿の実現に向けて～

〇〇〇〇していきます (取組みの方向性)	例えば、なにを・どのように (取組内容の例)
No.1 さまざまな防災対策を実施し、地域の防災力を高めます	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や関係機関と連携して「4町内会合同防災訓練」を実施します。 ・AED講習会や救急救命講習会、防災体験学習会などの勉強会を開催します。
No.2 住民の防犯意識を高め、犯罪や交通事故が起きにくい環境にしていきます	<ul style="list-style-type: none"> ・青パト講習会に参加し、青パト車による防犯パトロールを実施します。 ・「こども110番の家」ののぼり旗を地域に配布して、緊急避難所設置の取組みを行います。 ・児童の登下校時に、通学路の交差点で交通立哨を実施し、交通安全啓発と声かけを行います。
No.3 暮らしに密接なまちの情報を発信します	<ul style="list-style-type: none"> ・会報やホームページなどでまちの情報を発信します。

(参考) <地域計画アンケート結果> 令和3年時点

■高浜小学校区は、「情報が行きかう安全・安心なまち」だと思う



79.2%の人が「そう思う・ややそう思う」と答えています。



100%を目指して
いきます！

②こんなまちになったらいいな！ ～目指す姿～

- 住民一人ひとりが防災対策をし、住民同士がいざという時に助け合える関係ができています。
- 犯罪や事故が少なく、住民が安心・安全に暮らしています。
- 防犯・防災、子育てなど暮らしに密接したまちの情報が、地域住民に行き届き、誰もがまちづくりに参加しています。

スケジュール（年度）										備考
2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	～2032	
●—————→										
●—————→										
●—————→										



4. こうやって取り組んでいこう！ ～まちづくりの推進体制～

高浜まちづくり協議会は、地域の課題解決や魅力・長所を伸ばし育てるために、校区内の住民や各種団体が話し合い、調整・協議をしながら実践をしていく場。住民や各種団体の持ち味を活かしながら、ヨコにつながり合い、将来像やまちづくり目標の実現に向けて、協働で計画を推進していきます。

◇ 自分たちのまちは、自分たちでつくる【自主性・主体性】

高浜小学校区の「いま」と「これから」を「自分ごと」として考え、自主的・主体的に活動していきます。

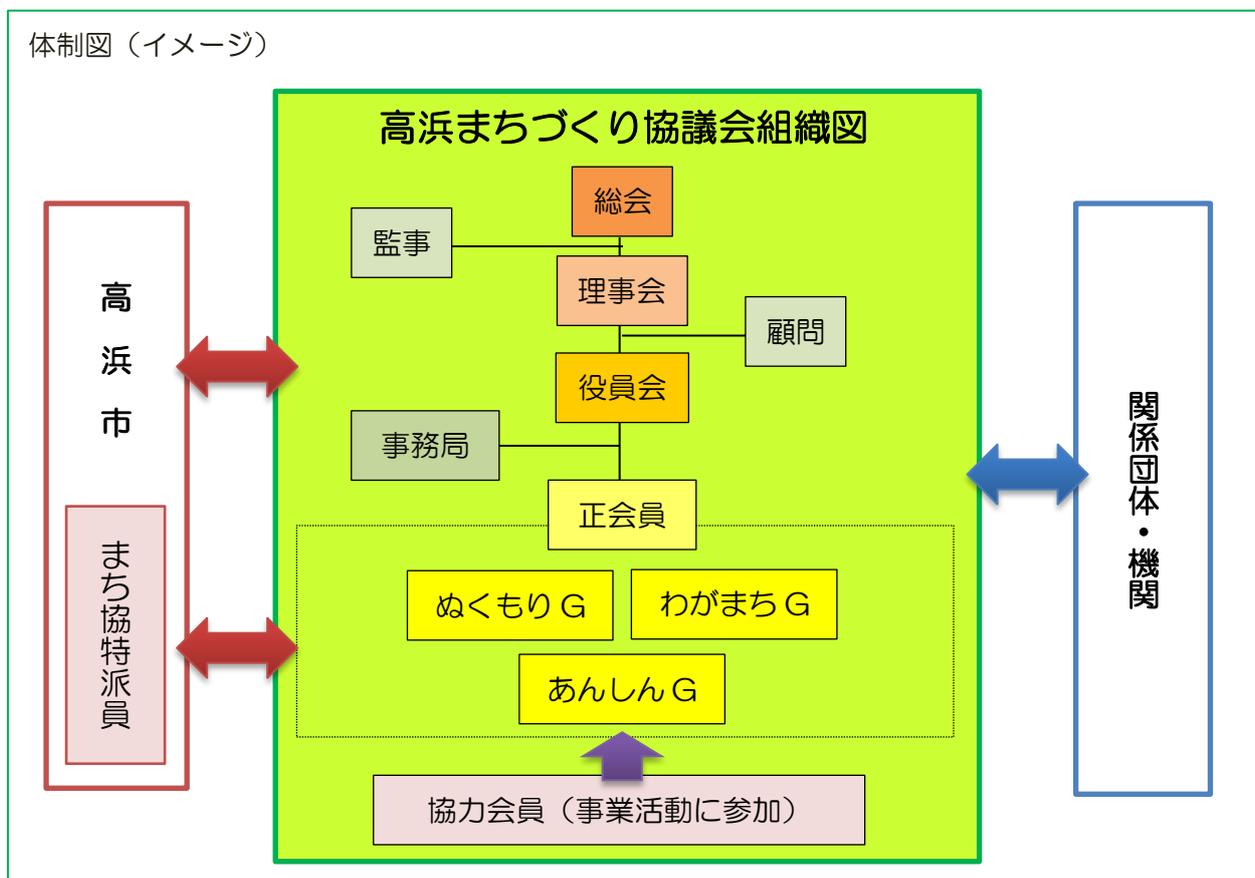
◇ 想いを共有し、みんなのために、みんなで取り組む【多様性・民主性・透明性】

情報を共有し合い、みんなで少しずつ知恵や力を持ち寄り、それぞれの持ち味を活かしながら取り組んでいきます。

◇ まちづくり協議会と行政との関係【補完性】

お互いに補完し合いながら、まちづくりを行います。

体制図（イメージ）



5. 参考資料

(1) 策定のあゆみ

【令和3年】

- 7月 8日 第5回役員会
地域計画策定体制決定
- 8月12日 第6回役員会
- 8月 第2回理事会（書面開催）
- 9月 「地域計画アンケート」実施
- 9月 9日 第7回役員会
- 10月14日 第8回役員会
- 10月19日 わがまちグループ会議
- 10月20日 ぬくもりグループ会議
- 10月21日 あんしんグループ会議
- 10月29日 第3回理事会
- 11月 「子どもアンケート」実施
- 11月11日 第9回役員会
- 11月16日 わがまちグループ会議
- 11月25日 あんしんグループ会議
- 12月11日 第10回役員会
- 12月23日 第4回理事会

【令和4年】

- 1月13日 第11回役員会
- 1月14日 「子どもアンケート」実施
- 2月10日 第12回役員会
- 3月10日 第13回役員会
- 5月 6日 第2回役員会
- 5月13日 第1回理事会
- 5月20日 第13回通常総会にて承認

(2) 策定メンバー

- 高浜まちづくり協議会 各グループ会員
- 高浜市役所 まちづくり協議会特派員

豊かな絆（きずな）を結び合う 愛着と誇りを持てるまち

-高浜小学校区 地域計画-

2023~2032

●編集・発行 高浜まちづくり協議会

高浜市青木町四丁目2番地16

TEL87-9112

●発行年月 令和4年5月